



ちちぶ定住自立圏形成協定



町では昨年9月、秩父市との間で5分野8項目の「ちちぶ定住自立圏形成協定」を締結しました。それに引き続き、このたび3月10日(水)から15日(月)まで行われた、第1回皆野町議会定例会で、新たに5分野11項目が可決されました。

保健・福祉

①住民を対象とした保健福祉事業の充実

保健福祉事業について住民が受講する合同で取り組むことが効果的・効率的と認められた事業を実施する。

➡ 圏域住民の予防医療意識が高まり、患者数の減少や医療費軽減が期待できる。

②子育て支援および児童福祉の充実

ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育などを需要を調査検証した上で、必要と認められる事業を合同で実施する。

➡ 単独では運営が困難であった子育て支援や児童福祉関連の事業を実現できる。

教 育

①生涯学習の充実

生涯学習の機会を充実させるため、生涯学習事業の実施や広報、学習施設の整備・運営を行う。

➡ 生涯学習機会を充実させることができる。また、秩父学に代表される地域学を普及することもできる。

②保護者の学習に関する事業の充実

保護者の学習に関する事業を合同で実施する。

➡ 家庭での教育力の向上により、学校における取り組みに加え、全体的な教育力の向上に貢献できる。

地域公共交通

誰もが利用しやすい公共交通の推進

圏域における公共交通の需要を調査し、検証することにより、既存の公共交通振興計画などを見直して圏域で統一した計画を作成する。

➡ 住民の利便性を考慮し、財政負担が少ない公共交通網の再構築が期待できる。

産業振興

①滞在型観光の促進

既存事業の見直しを行った上で、広域型観光ルートの整備や観光客誘致宣伝活動を行う。

➡ 宿泊客の増加が見込める。

②外国人観光客の増加

外国人向けの観光ルートの整備や外国人観光客の受入体制を充実させる。

➡ 新たな観光客の増加が見込める。

③秩父まるごとジオパークの推進

秩父の地質資源などを活かした秩父まるごとジオパーク構想を推進するために、ジオパークの活用方策について、協議会を設置して計画を策定するとともに、ジオサイトを結ぶ散策コースの設定などジオツーリズムの整備を行う。

➡ 秩父への訪問者の拡大が期待できる。また、地理、地学などの学習機会の向上につながることで、子ども農山村交流プロジェクトの誘致活動にも貢献できる。

④圏域内企業の支援体制の充実

事業者や創業希望者を対象にコーディネータを派遣し経営課題などに関する診断、助言などの一貫した支援を行うための産学官連携コーディネート事業を合同で実施する。

➡ 企業が経営体制の強化を行うことにより、雇用の確保などにつながる。

⑤有害鳥獣対策の推進

有害鳥獣に関する情報交換や対策の研究を行う。

➡ 広域的な有害鳥獣対策が可能となる。

環 境

ちちぶ環境保全の推進

新たな環境保全に関する総合的な計画を合同で策定し、それに基づき事業を実施する。

➡ 地域の実情に応じた環境政策の推進ができる。